



2023年7月28日
ファイザー株式会社

ファイザーとBioNTech、令和5年(2023年)秋開始の特例臨時接種における 新型コロナウイルスワクチンの供給に関する契約を締結

ファイザー社 (NYSE: PFE、以下「ファイザー」) と BioNTech SE (Nasdaq: BNTX、以下「ビオンテック」) は本日、日本政府とファイザー株式会社との間で、本年秋開始の特例臨時接種向のワクチンとして、2,000万回分を供給することを合意したと発表しました。

今回供給を予定しているのは、新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) のオミクロン株 XBB.1.5 系統のスパイクタンパク質をコードするメッセンジャーRNA (mRNA) を含む 1 価ワクチンで、両社が本年7月7日に厚生労働省に承認事項一部変更申請しているものです。

同 XBB.1.5 変異株対応ワクチンは、薬事承認取得後に速やかに供給いたします。なお、必要に応じて追加供給を行うことを日本政府との間で合意しています。

コミナティはビオンテックが所有する mRNA ワクチン技術に基づいており、ビオンテックとファイザーが共同開発しています。

ファイザーについて: 患者さんの生活を大きく変えるブレイクスルーを生み出す

ファイザーはサイエンスとグローバルなリソースを活用し、人々が健康で長生きし、生活を大きく改善するための治療法をお届けしています。私たちは、革新的な医薬品やワクチンを含むヘルスケア製品の探索・開発・製造における品質・安全性・価値の基準を確立するよう努めています。ファイザーの社員は、生命や生活を脅かす疾患に対するより良い予防法や治療法を提供することで、日々、世界中の人々の健康に貢献しています。世界有数の革新的医薬品企業の責務として、信頼できる医療に誰もが容易にアクセスできるように、世界中の医療従事者、政府、地域社会と協力しています。人々の期待に応えるため、私たちは170年以上にわたり前進し続けてきました。詳細はホームページ、公式 SNS をご覧ください。

www.pfizer.com (米ファイザー本社)、www.pfizer.co.jp、[Instagram](#)、[Twitter](#) (日本法人)

ビオンテック (BioNTech) について

Biopharmaceutical New Technologies (BioNTech) は、がんやその他の重篤な疾患に対する先駆的な治療を開発している、次世代免疫療法のバイオ企業です。創薬に AI を利用するコンピューショナル・ディスカバリーと、治療薬開発のための技術基盤を幅広く活用し、新たなバイオ医薬品の迅速な開発を推進しています。ビオンテックが保有する多様ながん治療薬候補には、mRNA を用いた個別化がん治療用ワクチンや、幅広い患者さんに適用できる off-the-shelf の mRNA 治療薬をはじめとして、革新的なキメラ抗原受容体発現 T 細胞療法、二重特異性チェックポイント免疫調節薬、がん治療用抗体、低分子薬などが含まれています。それらのがん治療薬候補の開発に加えて、ビオンテックは、mRNA ワクチンの開発に関する深い専門知識と自社生産の能力をベースに、協力関係にある企業や機関とともに、様々な感染症を対象とする mRNA ワクチン候補の開発も進めています。ビオンテックは、Genmab、Sanofi、Bayer Animal Health、Roche Group の Genentech、Regeneron、Genevant、Fosun Pharma、Pfizer など、数多くのグローバルな製薬企業と幅広い協力関係を築いています。詳細はホームページをご覧ください。www.BioNTech.de

#####